

刊夕日六十月六



定価 一部金貳拾月金五拾銭 郵費別取
廣告料五拾二文字第一行金五拾銭
日曜 祭日の翌日休刊
発行所 常報日新報社
印刷所 常報日新報社

人生行路難の打解と孝道の作興

麻生 正 蔵

(四)

道德の弛緩頹廢は人生の各方面に瀰漫して居る。家庭道德、就中結婚道德、社會道德、政治道德、實業道德、官吏道德、公人道德等々。到る處、道德が地に落ちた感なきを得ない。窃盜強盜、ギャンブル、殺人、自殺、放火、強請、恐喝、詐欺、詐偽、中傷、離間、瀆職、背信、賄賂贈受、選舉違反等々、悖德事件は到底、數へ切れないのである。加ふるに、君臣の道、親子の道、夫婦の道、兄弟姉妹の道、朋友知人の道等は傳統的舊式道德として輕視される傾向があり、義務や犠牲、親切、勤勉、自制克己、忠誠の如きは嫌厭され、我儘、横着、自己宣傳、甚しきに至つてはインテキが成功の秘訣であると言へ輩出するに至つたのである。善言惡行之れ即ち國際道であるかの如く暴威を振ふ多數國家もあるのを見れば、世界到處、何と言ふ人間味のなさ、加減であらう。凡てかう言ふ世道人心の頹廢の主因は、現代人が利己的個人主義である所に存するのであると、私は考へざるを得

ないのである。

果して然らば、現代人生活の各方面に於ける病弊の共通根本主因は利己的個人主義に存すると言へるのである以上、その根本治療法は此の有害有毒なる利己的個人主義から現代人を救ひ出すことは言ふ迄もない所である。併しどうしたならば、果して救ひ出すことが出来るであらうか。それが本問題中の最大重要の中心問題である。

想ふに、現代病弊の根本治療策は人間の人間たる所以の本質、即ち人間の本来の性に、その根柢を有するものであらねばならぬ。抑々私達人間生存の目的は人間自身の本性其物の本来の面目を出來得る限り、完全に實現すること、換言すれば、本性其物の眞實の要求を充分に満足せしむること

ノート

夏物は脱いたらすぐ水霧を吹いて日蔭で乾かすか夜露に曝すと汗汚點が出來ない。

である。然らば人間の本性とは何であるか。その眞實の要求とは何であるか。人間の本性の何たるやは、之を簡單に言ひ表はすことは頗る困難であるが、私はそ

れは理想の追求、實現、體驗、味得に在ると考へて居る。さう言ふ要求の上、又は内に、窺知することが出來ると考へて居る、私達人間は生きんとする要求や、

明日の献立

- 【朝】みそ汁―豆腐
- 【晝】わん―魚切身 めうが
- 【晚】煮肴―魚煮付 生姜

人に知られ、人に賞められ人に尊敬されたいと言ふ要求や人の上に立つて人を支配し、事を成したいと言ふ要求、並に富み榮えたいと言ふ要求を持つて居るのである。即ち長壽の要求、名譽の要求、權力の要求、成功の要求、富貴の要求等を持つて居る。併し此等の要求は人間本性の第一義的の要求でなく、唯その第二義的の要求に過ぎないのである

然らば人間の本性其物の第一義的の要求は、何であるか。曰く言ひ難しではあるが、現下の私達人間の知能の及ぶ範圍に於ては、本當の、眞實の人生、美しい人生、善い人生、悪い人生を心適く迄生きて行き度いと云ふのが、即ち人間の本性其物の第一義的の根本的の要求であると、私は常識的に考へて居る。

地家相事相
定銀五拾二文字第一行金五拾銭
日曜 祭日の翌日休刊
発行所 常報日新報社
印刷所 常報日新報社

十七日、甲寅九紫、大安成
【一白】金談、取引、業務に不平起り易き日なれば人と和順が利あり【二黒】金は手に入り貰ひ物あり目下の男女に喜悅のある大吉日なり【三碧】我身に變動ある日なれば怪我、紛失、病氣に注意【四綠】營業繁昌の吉なるも離別の争ひや火災に注意【五黄】外見良く内心に骨の折る日なれば萬事忍耐【六白】病氣、怪我、盜難、紛失に注意して現狀維持が徳【七赤】我が望事を達せんとして不時の驚きあり長男長女に注意【八白】親戚關係の金談、縁談あると雖も皆吉【九紫】我が目的に迷信を起し易者に判断を乞ふ様なり【米】上廻り【株】上廻り

應需院入

院醫沼藤

内小 科科兒柳花
科科病柳花

本町屋紺町五話
番七〇五話電

平新川町十九

産婦人科 木村病院

電話一六四番

産婦人科 院長 木村寅次郎
婦人科 醫學士 内 木 宗 八

貸切の●●●

御用命は!!!

獅子吼(四四九)ノ勢デ
眞先ニ……(マツサキ)
三九二タクシーへ!!!

吸入用酸素純度99%

モノサシ
マス
ハカリ

体温器
寒暖計

正札堂洋服店

平町四丁目停車場通
(電話四三六番)

★……★	夏	★……★
シルクポロラ	拾六圓五拾銭	
最上仕立三ツ組		
ポロラセピロ(上下)	八圓三十銭	
黒セル上衣	三圓ヨリ	
グラニツト	一圓五十銭	
白ズボン	五十銭ヨリ	
白キヤラコ	三圓五十銭ヨリ	
白セルズボン		

久全屋商店

磐城セメント會社特約店

磐城平町五丁目 電話九番九九番

□良品廉賣に勝る商略なし
□確實敏捷は●●●の生命なり

關内藥局

電話四〇番

お互ひに水を譲る

共々應援して田植を濟す

飯野高久夏井三村申合せ

愛谷江筋を灌漑に使用する石城郡飯野、高久、夏井三村にては今後降雨なき場合は相當打撃を受けるので前記三村民代表は昨十五日飯野村役場に協議會を開き協定の結果江筋の用水は十八日より廿二日迄飯野村にのみ引水し高久、夏井の農家が應援して田植を行ひ廿二日より一週間は夏井、高久に引水して飯野村より應援する事に決定したと

植田町の

繭初取引

御祝儀相場

石城郡植田町の春繭初取引は十四日同町大谷商店にて行はれたが御祝儀相場として白繭六圓三十五錢總貫數六十貫で品質も極めて良く生産者は山田村字大津の小宅義秋氏であると

田植の手傳

好間青年團出動

石城郡好間村青年團では来る廿二日午前十時より小学校に委員會を開き村内農家の手不足な向きに團員を出動せしめて協力田植の手傳ひを爲すべく打合せると

磐女校庭籠球 磐女對平第一小學校のバスケットボール練習試合は来る二十四日午後二時より磐女グラウンドに於て行ふと

郷土の偉人を

祭つて崇拜する

自然的資料も陳列

平第二の郷土教育

平第二小學校では兒童をして郷土の偉人を崇拜させるの偉業を理解せしむる爲め安藤對島守、大越中佐

人澤村勤兵衛、原担山、神林俊所、内藤義英、大須賀篤軒等各偉人の模型を作成し年一回宛郷土の偉人祭を

行ふと、尙同校郷土室には左記自然的資料を陳列して郷土教育に資する由

- 1、郷土に分布する主要礦物及び岩石標本
- 2、郷土の地質圖
- 3、郷土産礦物の利用と販路研究録

美と力の体操

平第二校の實行方針

平第二小學校では兒童の健康増進を爲る爲め過般來体操の指導方法及び之が改良に就いて研究中であつたが此程左の如き方針に依り實行する事を決定した

思想表現の態度、体操の内容を擴充、体操組織に於て兒童の心身發達過程に應じたもの、美の体操、趣味の体操、力の体操

移出入を禁止して

豚コレラの發生を防ぐ

石城郡植田町養豚實行組合では隣縣茨城縣の豚コレラ發生に憤れを抱き全組員が豫防に全力を注ぎ他町村との移出入を禁止しつゝあるが尙徹底を期する爲め去る十四日協議の結果當分組員の養豚は植田町内のみで處分する事になつた

国道側溝

寄附採納

平町役場では十九日午後一

水戸鐵道運輸事務所管内水戸平兩驛間驛長助役主任の經理事務打合せ會は廿三日午前十時より平驛樓上で行

鐵道の

經理事務

各驛長打合せ

濱三郡劍道大會に

出場の磐中、平商選手

はれ午後は住吉屋本店で慰勞會を催す筈

既報磐中及び平商兩劍道部にては来る十八日午前十時より双葉中學校に於て開かれる濱三郡中等學校劍道大會に出場すべく必勝を期し練習中であつたが本日選手を左の如く決定、磐中は庄司、平商は武川各係教諭引卒の下に出場すると

- (磐中)和田弘尚 草野寅光 作山友三 大平浩山形阜 小林一允 三浦辰雄
- (平商)山田定 田中清 草野忠悟 郡司重雄 山田政直 長谷川武士

平第一校

籠球選手

平第一小學校では磐中籠球部主催第二回郡下小學校兒童バスケットボール大會が迫つたので必勝を期し練習を開始したが本年度出場選手は左の如くである

- (A組)田中忠太郎 佐藤善一 太田仁吾 關内弘吉 友部六郎
- (B組)高橋善一 佐藤満夫 鈴木俊太郎 新井保智 酒井明

戸數割町會

廿四日開く

平町では来る廿四日午後一時より役場會議室に於いて本年度戸數割附加總額八萬五、圓八十錢の前期分四

大浦共同販米

石城販賣利用組合の大浦農業倉庫共同販米は昨十五日行はれ、五等八十二俵、等外二百五十二俵、計三百卅四俵を入札せる結果四等建値八圓四十錢を以つて四倉町渡邊留五郎、佐藤熊造の兩氏に落札されたが前回に比して十錢の高値を見た

平町人事

回出生

- △立町八五 村上七之助氏
- △二男英夫
- △新川町一八 佐藤善男氏
- △四男昭治
- △回死 亡
- △仲町六九 當時東京市王子區豊島町五七三 赤津次男(三ツ)

一冊の代金で

御希望通りな

五冊の雑誌が自由に讀める

川崎文庫

電六三〇番 (申込次第規則書進呈)

美味!

芳醇!

宗正らひた

山崎合名會社 電話一〇番

看護婦急派

の求めに應じます

平看護婦會

電話三〇七番

院醫坂井

町田町平 番九五五話電

投票を見たいと

落選村議の申立

無効票が全部俺なら

當選順位に狂ひが来る

石城郡内郷村の村議改選に出馬して落選した同村字綴藤咲房夫、事務長綿引司馬之助の両氏は去る十四日付を以つて沼田村長に對し過般行はれた村會議員投票の有効及び無効票を明示され度いと左記の如き異議の申立書を提出した

内郷村會議員選舉會は昭和八年六月八日を以つて選舉を施行し以て卅六人の立候補者中最高点百九十七票より順次當選なし最少点數八十九票を以つて町村制第十一條により卅名當選決定せり、然れども全投票數の内無効票數六十七票あり申立人等は右無効六十七票に對し眞に無効なる事を再認する事を得ず假りに右無効六十七票が全部有効なるものと見なし亦更らに右票數の全部が藤咲房夫の名義記載しあるとせば如何、果して然りとせば右六十七票と既得票數六十九票とを合算し百三十六票の得票となるを以て當選の事實は顯かなり依つて町村制第三十三條を以て異議申立候也

咲く花を

お客に招く

平第二の花祭り

病院の患者に花束慰問

平第二小學校では来る七月七日午前八時より花祭りを催すが當日は講堂に祭壇を設け花束を祭り百花生贄として招待し兒童の學藝及び成績品を備へて禮拜、感謝、供養を行ひ終つて町内

に於ける各病院を訪れ病床者に花束を贈つて慰問する

船大工口ハ飲 石城郡豊間村字薄磯船大工遠藤政行(三)は昨十五日小名濱

町宇古港地内飲食店山名マキ方で三圓餘の無銭飲食をなし逃走せんとして家人に取押へられ其筋に突出された

雨は未だ足りぬ

ヤツト濡る程度

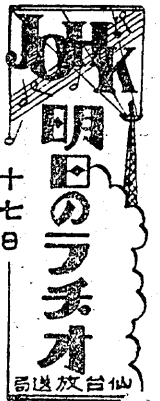
四五日中に降雨がなければ
植付不能になる

石城郡下の各農家が水不足で悲鳴を擧げて居る先去る十四日の降雨で僅かに蘇生の思ひをしたが神谷農事試験分場で調査した十四日夜來の降雨量は坪當り二斗四升七合程で今迄の干天續きに對しては餘りに少なく田や畑作を僅かに濡はしたに過ぎず今後四五日中に降雨のない時には苗の植付不能に陥る農村が相當に出る模様である

兵營見學

終つて歸校

去る十三日三泊四日間の豫定にて仙臺工兵第二大隊に兵營見學及び實彈射擊實習中の平商四年生六十六名は



今晚も明日も北東の風晴曇半す

今晚の部

- 後六、〇〇 子供の時間 唱歌 第一部(齊唱)秋田縣師範學校附屬小學校兒童 第二部(齊唱)宮城縣師範學校附屬小學校兒童
- 後六、二五 講演「古代奥州の黄金狂時代」藤原相之助
- 後七、三〇 講演「仙臺放送局開設五周年に際して」仙臺遞信局長三宅秩一
- 後七、五〇 謠曲「杜若」シテ後藤文吾 地澤口政之助 同遊谷豊吉
- 後八、一〇 長唄 新曲「伊達妾江都錦繪」唄時榮、萬奴、信子、里千代外
- 後八、五〇 浪花節「近世遊俠傳」第二席 小金井太郎

明日の部

- 後九、三〇 時報 ス 氣象通報 番組豫告
- 前六、三〇 基礎ドイツ語 講座(二十九)橋本忠夫
- 前九、一〇 料理献立「日本風のキャベツ卷」小野やす子
- 前一〇、三〇 婦人講座 「婦人の自己教育」大内タリノ
- 後〇、〇五 講演「八百藏吉五郎」神田伯龍
- 後二、〇〇 家庭大學講座 「親族關係は如何にして改正せられんとするものか」(二)結婚の手續様式

恩師中村先生宅に於て臨時總會を開き會則變更、役員改選、基金寄附募集の件等を協議する

早くも

氷水屋

出願者百名 平署には早くも連日氷店の出題者が殺到して現在百名に達する盛況を見て居る

盗んだ自轉車を

賣り廻る内捕る

千葉縣銚子町本銚子生れ吳服行商伊藤輝吉(四)は去る十四日午後四時頃石城郡湯本町字表町地内湯本活版所前自轉車一臺を窃取し此れを同町上町各商店に持廻り賣却せんとして居るのを平署員に檢舉され目下餘罪取調中

平職業紹介所報告

- 回人を求める方
- △女中 四十才 高卒 月五圓位(平町某)
- △農夫 三十才 委細面談(平町某)
- △雜夫 二十三才 月十圓

は改まる)片山哲

- 後六、〇〇 子供の時間 お琴「六段調」第富田初子外
- 後六、二五 ことばの講座 「讀本朗讀」解説 神保格中村茂
- 後七、三〇 講演「學術研究と産業並生活との關係」東北帝國大學工學部長工學博士拔山平一
- 後八、〇〇 琵琶「臺灣入」田中旭嶺
- 後八、二〇 マンドリン合奏 アルモニアマンドリンオーケストラ 指揮澤口忠左衛門
- 後八、五〇 浪花節「近世遊俠傳」第三席廣澤虎造

是非御利用を

▶ 迄時九後午間時業營 ◀

り通岸河目丁四町平

店 寶 井 三

【番六〇六話電】

専門 内科一般

宅診 内科は何でも診療致します
往診 呼吸器病ばかりではありません
平町南町六五

川井内科診療所

醫學士 川井重之
女醫 川井安子

電話 一八一番

義経の剣

【禁轉載上演及映畫】

第三百六十六席

物外と近藤勇

悟道軒圓玉演
近藤紫雲畫

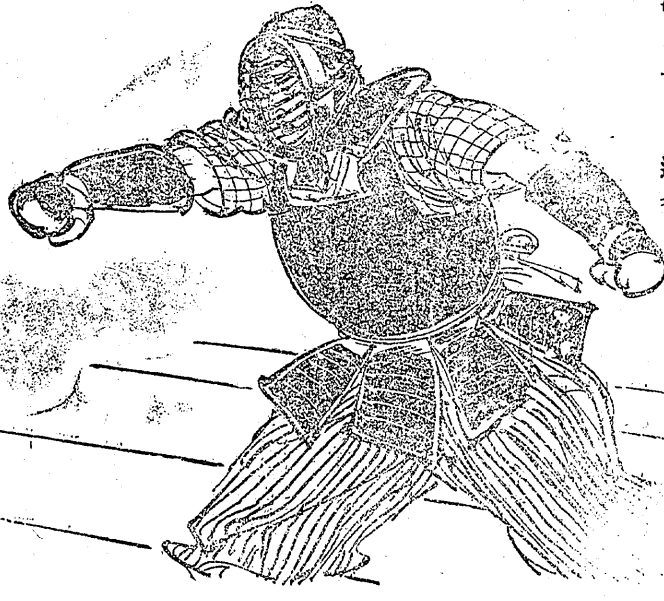
猛虎のやうな近藤

本梅縫之助は土方歳三の打込みし竹刀をサツと右へ拂ひ上げ、片膝ついてお胸!! と聲をかけて打ち込んだ、心得たりと歳三が中柄で受けようとしたが、打ちが早かつた、それが爲めに胸をうたれて、參つたと云つて飛下る。此折躍り出した沖田總司、道具をつけて竹刀を取り

沖「お美事でござる、未熟ながら手前が相手をしたす」
縫「これは、沖田殿にござるか、拙なき手の内御賞美に預り赤面いたす、お軽く頂戴いたす」
エイ、と氣合がかつた

が、本梅は例の如く下段に構へた、沖田總司は上段に振りかぶつて暫らくにらみ合つてゐたが、ヤツと叫んで打ち込む竹刀、それを本梅は受け流しポン〜と激しく打ち合つてゐたが沖田はこれまた本梅のために打ち立てられて後〜とさがり息が上がつて來た、本梅は敵の疲れを見て、ポンと小手を打つた、其のあざやかなこと、沖田はシマツタと思つたがモウ付

ない
沖「恐れ入りました」
本「これは、拾ひ物を致しました、失禮御免」
面をとつて額ににじむ汗を拭ふ、此時近藤藤太は武者溜りを下り、道具を



さい
丁實に會釋してこれから面をつけ、竹刀を取つて此度は青眼にかまへた、近藤も同じく青眼にとつてデリデリツと進みよる、これを武者溜りに見てゐた小谷下總守、近藤は技より氣性がすぐれて居る、本梅なればこそ此の相手も致すが他の者では近藤の勇氣に壓倒されて戦はずして屈伏するであらう、とかう思つた。中に近藤が大喝一聲打ち出した竹刀はブーンとうなりを生

とした時に、飛びさがつた近藤は、腰をおとしてこぶしを固め、ウオーと云つて本梅をにらんだが、其のうなつた聲は虎のうそぶくが如く、本梅は其の氣勢におどろいてバタリと竹刀を落して、まゐつた、と云つた、こんな妙な試合はない先に竹刀をおとされた近藤が勝になり、竹刀を打落した本梅が負けとなつた、武者だまより下りて來た小谷

小「イヤ近藤、お前は勇者だ、後年天下に名をなす者だ、然し勇氣のみ勝れて居つても其の術に暗ければ勝ちを得ることはなるまい、術を修め、しかして其の勇氣を加へば天下無敵、先々修行いたせ」

と云ひました、さすがは名人、小谷の申し如く近藤は人を以つて人を斬つた此の人が虎徹のきたへし一刀を持つて敵に躍り込む其勢ひは猛虎の如く人間とは思へない、敵は勿論味方も其の勇猛なる有様にふるへ上つたさうでございます、これは近藤に従ひ度々共に戰場に出てこれを見た者の實話です、京都を引拂つて甲州に來た時に、勝沼にて僅かに三百人の兵を卒めて二千有餘の官軍を引き受けて戦つた、此時に近藤が大

刀をふるつてたゞ一騎、土州の同勢へ乗り込んで三十人斬つたさうでございますこれがために官軍の先手が崩れた、恐ろしい強い人があるもの、成程これは人間

とは思はれますまい、しかし唯強いばかりではない、策もあります、機に臨み變に應じて術策をほどこしたそれなればこそ新撰組の隊長にもなりました、さて近藤はその後小谷下總守について劍術を學び、また養父近藤周助よりも理心流を學び、今や其の極意に達したすると出羽庄内の住人清川八郎のすゝめによつて新撰組に加盟いたした、これが近藤の世に名をあらはす因

市原醫院

平町 田町
電話 一四四番

毒梅 淋病 皮膚病 婦人病 腸胃病
病林 腸胃病 腸虫病
門專 院醫科
松村 電話 七〇一話電町南平

外科
門專 科線 X
上田外科病院
平町南町
電話 一二九番

木炭代用この上のない經濟の
徳用な **豆炭**
壹袋正五貫目入金 八十錢也
御注文次第御届申シマス
三丁目(電話六六三番) 磐崎屋酒店
一丁目(電話五九六番) 菅本武雄商店
白銀町(電話二九九番) 水野氷店
六丁目 矢吹石炭商店
平町前(電話三七番) **阿部石炭商店**
◎特約店募集致シマス

小兒科。内科
特ニ乳幼兒ノ康健相談ニ應ズ。
平町 ねずみ坂
隨意 渡邊醫院
電話 一六一番

涼しい……
麥一文字帽子
¥35.00
ツルヤ
電話 一四〇